

この度、人生で初めて自伝を上梓いたしました。実は長年自らの自伝として温めてきた原稿を家族への遺書代わりにとと思ひまして、随分前から印刷会社で製本を依頼していましたが、しかし編集者がいなくて中々進みませんでした。

ところが幻冬舎の自費出版のサイトに釣られて参考に説明会だけと思ひ受けたのですが、先方の女性営業担当者によるご熱心なセールスの末に、既に印刷会社へ依頼した作業費をお支払いして、この春に幻冬舎と出版契約を結びました。

編集者とのやり取りで約半年かかりましたが、漸く予定より2か月遅れで10月の出版へ辿り着きました。家族には反対することが分かっていましたので自費出版することは内緒でしたが、見本書籍が出来上がってから報告しました。

私自身の事は家族でもすべてを知っているわけではないし、家族への遺書のつもりで書きました。まして他人様は私の事を知らない部分が多々ありますので、少し誤解を解く上でも自分自身というものを披露してみようという考えに至りました。

本日の午前中に無事に製本が届きました。金融機関の方々や社内、親会社には事前に書籍の出版をお話をしていましたので、ご覧いた

できれば幸いです。生まれて初めて書籍を執筆しましたが、書籍を世に出すことの大変さを深く自覚した次第です。

稲田彰典